

いわき農林水産ニュース

(ふくしまからはじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動ニュース)



4月号 発行 平成28年4月27日

いわき地方防霜対策本部を 設置しました！！

4月1日(金)、いわき地方防霜対策本部を設置しました。その前段として3月29日(火)にいわき地方農業災害対策会議を開催し、遅霜による農作物被害の未然防止と霜害発生時の被害軽減対策及び総合的な農業災害対策について関係機関が話し合いました。

遅霜による農産物被害の未然防止対策としては、水稻の幼苗期の深水管理、野菜や切り花類の育苗期及び定植直後の幼苗保温管理等があげられます。いわき地方で最も霜害に遭いやすい日本なしについては、4月中下旬が満開と見込まれるため、防霜資材の準備や草刈りによる地温上昇、かん水による保温等の対策に努めることを確認しました。

加えて、昨年9月の関東・東北豪雨など、局所的な気象災害が多くなっており、関係機関の連絡体制を密にして被害防止対策の周知や被害地域の調査などを迅速かつ正確に実施するため、連携体制について再確認しました。

今年も実りの多い年となるよう、防霜対策並びに農業気象災害対策に取り組んでいきます。



(対策本部の看板を掲げる森口所長(左)、和田山農業振興普及部長(右))

(農業振興普及部)



試験操業拡大について

3月17日(木)、水産会館で開催されたいわき市漁協試験操業検討委員会において、底曳き網漁業の操業回数を4月より週1回から週2回に拡大することが決定されました。

本格操業を目指して漁獲量を倍増し、県民へ多くの県産水産物を供給することが目的で、4月の初漁となった6日には、いわき市漁協所属船26隻が出漁し、マダラやアオメエソ、タコ、イカなど4.5トンの水揚げがありました。



(底曳き網の水揚げ風景)



(水揚げされたマダラ)

(水産事務所)



東京都被災産地支援研修会

3月16日(水)、小名浜魚市場において、東京都中央卸売市場の主催による「東京都被災産地支援研修会」が開催されました。研修会は、被災産地の生産・出荷体制や放射性物質検査の実態を首都圏の一般消費者へ説明し、本県農林水産物の風評払拭を図る目的で実施しており、50名を超える参加がありました。

研修会では、県水産試験場から魚介類のモニタリング検査結果を、県漁業協同組合連合会から試験操業の取り組み状況を説明しました。

その後、参加者は魚市場と放射性物質検査室を見学し、本県水産物の安全確保に向けた取り組みについて理解を深めました。

参加者の中には、「厳しい出荷基準を独自に設けていて努力が見て取れる」との激励の言葉を寄せる方もおり、研修会は好評のうちに終了しました。



(モニタリング結果の説明)



(放射性物質検査室の見学)
(水産事務所)



いわき市産鉢物を直売しました！！

4月10日(日)、市内の鉢物生産者で組織されているいわき花き鉢物研究会は、いわき市産鉢物のPRと需要の把握のため、「かしまふれ愛さくら祭り」で直売を行いました。

当日は恵まれた天候と桜吹雪の中、アツツ桜やペラルゴニウム、カラー、ガザニア、宿根かすみ草などを並べ、大勢のお客さんをお迎えし、展示販売することができました。

直売に携わった生産者は、自らの商品紹介や管理方法を積極的に説明し、一鉢ずつ丁寧に販売していました。昨年に続き2回目の出店でしたが、販売は前年を上回る勢いとなり、午前中には商品の大半が売れ、追加販売まで行いました。

生産者は、売れ筋が前年と同じではないことに驚きを持ちながらも、消費者の声を直に聞くことの大切さを実感し、今後の生産活動に活かせる情報を収集していました。



(生産者及び消費者のふれあい)



(かしまふれ愛さくら祭りでの直売風景)
(農業振興普及部)





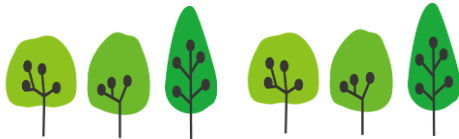
森林保全巡視員 委嘱状交付式を開催

4月1日(金)、県いわき合同庁舎において、森林保全巡視員委嘱状交付式を執り行い、森口いわき農林事務所長より新任1名を含む9名の方に委嘱状を交付しました。

これからの時期、多くの方が森林に入り自然を楽しむ機会が増えてきます。森林の豊かな恵みをいつまでも受けられるよう、森林保全巡視員には今後1年間、いわき地方の保安林や県営林において、森林内の気象害や病虫害の発見、無許可の伐採や開発行為の発見といった巡視活動とともに、入山者に対する山火事防止の啓発活動やゴミの持ち帰りを指導していただくこととしています。



(森口所長より委嘱状を交付される巡視員)
(森林林業部)



「ふくしま おいしい大賞 2015」の受賞について

3月23日(水)、福島市において「ふくしま おいしい大賞2015」の表彰式が執り行われました。「ふくしま おいしい大賞」とは、福島県内の美味しい農林水産加工品を全国へお届けするとともに、お客様の声を生産者へフィードバックする取組として県が2012年よりスタートしたものです。毎年、優れた加工品を各部門ごとに大賞、優秀賞として表彰しており、今回で4回目となります。

いわき管内からは、惣菜部門の大賞に「(株)いわき福島復興オフィスのドライトマトのオリーブオイル漬け」、惣菜部門の優秀賞に「Famere's House SAWAの原木しいたけの和風ピクルス」が、それぞれ受賞されました。また、健康日用品部門の優秀賞に「(株)磐城高箸のおめでた箸」が輝きました。

(株)いわき福島復興オフィスの池端達朗社長からは「この商品は、「美味しくて体にやさしい6次化加工」をコンセプトに、医師及び管理栄養士との「医福食農連携」により企画・開発しました。今後もいわきの美味しい農産物を全国にアピールしていきます。」との抱負を語られました。



(ドライトマトのオリーブオイル漬け)



(ふくしまおいしい大賞2015賞状)

(企画部)

「林業活性化講演会」が 開催されました

3月24日（木）、県いわき合同庁舎において、磐城流域いわき地区林業活性化センター主催による、いわき地方の森林整備の推進や木材の安定供給、需要拡大を目的とした林業活性化講演会が開催されました。

講師には、福島県林業経営者協会会長である磐城造林(株)会長の小野好郎氏を招き、「いわきの山について考える」と題して講演がありました。

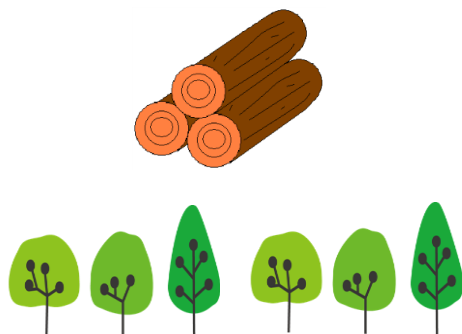
講師からは、「大面積の森林を経営していく苦労話や一度荒廃した森林を適正に戻すには100年かかること、また、持続可能な森林の認証制度に早くから着目し、平成21年度には県内でもいち早く所有森林の認証を受けた」ことなど、これからの森林づくりに参考となる貴重なお話を伺うことができました。

当日は、林業関係者など30名が参加し、参加者からは「将来のためにも、継続して森林整備を行っていくことの必要性を改めて感じた」などの意見があり、今後のいわき地方林業の活性化につながる事が期待される講演でした。



(講演会の様子)

(森林林業部)



「ふくしま地産地消大賞」の 受賞について

3月25日（金）、福島県庁において「ふくしま地産地消大賞」の表彰式が執り行われました。「ふくしま地産地消大賞」とは、県産品の消費拡大や再生可能エネルギーの利用拡大など地産地消の推進に関する優れた取組実践者を県が表彰するもので、今回が初めての表彰となります。

いわき管内からは、「(有)とまとランドいわき」の「いわき市産ハウストマトの信頼確保と加工販売による規格外品の有効活用」の取組が評価され優秀賞を受賞されました。

(有)とまとランドいわきでは、震災後すぐに放射性物質の自主検査を行うとともに、その結果をホームページなどで情報発信することでいわき市産ハウストマトの安全・安心と信頼性確保に取り組んでいます。

また、生食用に向かない規格外品トマトを使いトマトジュース、ゼリーやジャムなどを販売しています。

さらには、太陽光発電システムを導入し、再生可能エネルギーにより生産施設電力の一部を賄うなど地産地消の推進に努めています。



(ジュース、ゼリーやジャムの商品)

(企画部)





いわき地方の農林水産物 モニタリング検査結果

農林畜産物の検査結果

福島県が行った、いわき地方の3月の農林畜産物の放射性物質モニタリング検査結果をお知らせします。

検査した5品目21検体の全てにおいて、放射性セシウムが検査機器の検出限界値以下でした。内訳は(表1)のとおりです。

(表1)放射性セシウムが1点も検出されなかった品目と検体

菌床しいたけ(施設) 3、菌床なめこ(施設) 1、ふきのとう(野生) 4、牛肉 9、原乳 4

3月末現在、いわき地方産の農林畜産物で出荷が制限されているのは、(表2)のとおりです。

(表2) 出荷制限及び出荷自粛品目 (3月末現在)

制限、自粛	区分	品目
出荷制限 (7品目)	野菜・根菜・芋類	—
	果物	—
	穀類	—
	山菜	たけのこ、ぜんまい、わらび、こしあぶら、たらめ(野生のものに限る)
	きのこ	原木なめこ(露地)、野生きのこ
畜産物	—	
出荷自粛 (1品目)	山菜	さんしょう(野生のものに限る)

平成27年産米の全袋検査結果

平成27年産米の全袋検査は、3月末までの検査点数538,962点のうち、99.99%の538,891点が測定機器の測定下限値未満、71点が基準値内で検出が確認されましたが、基準値を超過したものではありませんでした。

玄米(平成27年産)検査状況(3月末現在)

測定値区分 (単位: Bq/kg)	測定下限値 未満(<25)	25 ~ 50	51 ~ 75	76 ~ 100	100 以上	計
検査点数 (点)	538,891	70	1	—	—	538,962
割合 (%)	99.99	0.01	0.00	—	—	100.00

(3月31日付け 水田畑作課HPにより確認)

調査結果は、「ふくしまの恵み安全対策協議会」の農林水産物モニタリング情報で簡単に検索できますので、結果をご確認ください。

(企画部)

海産魚介類の検査結果

○福島県沖で採取された海産魚介類の放射性セシウム濃度は、時間の経過とともに着実に低下しています。

平成28年3月に放射性セシウムの食品としての基準値100Bq/kgを超えたものではありませんでした。

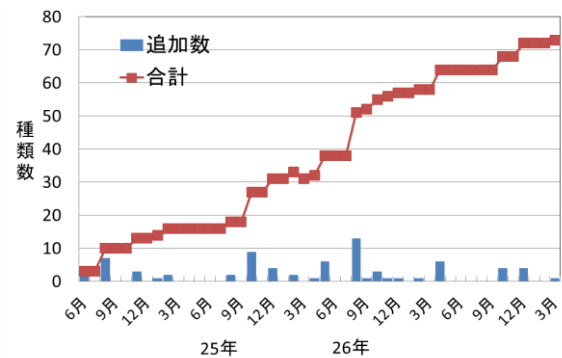
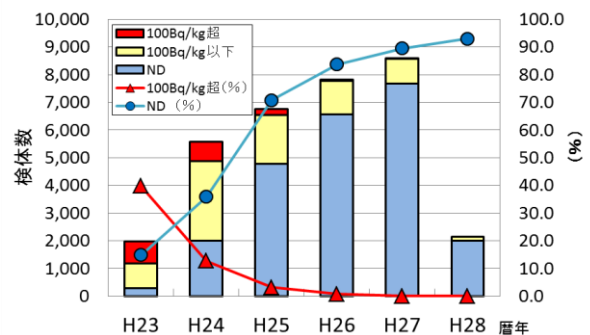
なお、平成27年4月以降、海産魚介類で基準値100Bq/kgを超えた魚介類はありませんでした。

○試験操業対象種は、3月29日に県漁協組合長会議で松川浦のアサリが承認され、魚介類73種類に拡大しました。アサリ漁は4月20日から再開されました。

(平成23年以降のモニタリング検体数と放射性セシウム検出の割合)

年		100Bq/kg 超	100Bq/kg 以下	不検出	計
H23	検体数	785	893	294	1,972
	割合(%)	39.8	45.3	14.9	100.0
H24	検体数	921	2,372	2,287	5,580
	割合(%)	16.5	42.5	41.0	100.0
H25	検体数	280	2,147	5,214	7,641
	割合(%)	3.7	28.1	68.2	100.0
H26	検体数	75	1,387	7,260	8,722
	割合(%)	0.9	15.9	83.2	100.0
H27	検体数	4	896	7,677	8,577
	割合(%)	0.05	10.4	89.5	100.0
H28	検体数	0	150	1,991	2,141
	割合(%)	0.00	7.0	93.0	100.0
計	検体数	2,065	7,845	24,723	34,633
	割合(%)	6.0	22.7	71.4	100.0

H28.4.4現在



※採取月日で集計

(水産事務所)



いわき農林事務所 転入者一覧

平成28年4月1日付け人事異動により、いわき農林事務所へ着任した職員を紹介いたします。

部名	職名	名前	旧所属
	所長	森口 康弘	農村整備総室
総務部	副部長兼総務課長	鈴木 健二	議会事務局総務課
	主事	中村 友亮	新採用
企画部	主事	菅原 大地	新採用
農業振興普及部	部長	和田山 安信	生産流通総室
	副部長	二宮 信明	生産流通総室
	農業振興課長	岩野 英一	相双農林事務所双葉農業普及所
	経営支援課長	味戸 裕幸	農業総合センター農業短期大学校
	農業振興課 技師	藤江 孝太郎	農村整備総室
	地域農業推進課 技師	佐藤 祐希	新採用
	経営支援課 技師	渡邊 仁司	南会津農林事務所
農村整備部	部長	土崎 真	南会津農林事務所
	管理課 技師	金成 麻里	県北農林事務所
	農村整備課 技師	先崎 悠介	県中農林事務所
	農村整備課 技師	浦野 友貴	新採用
森林林業部	部長	穴澤 厚	農林水産総室
	林業課主査(キャップ)	豊田 広幸	森林林業総室
	林業課 技師	加藤 沙織	新採用
	森林土木課主任主査	小林 春男	県南農林事務所
	森林土木課 主査	長嶋 義之	相双農林事務所
	森林土木課 技師	齋藤 綾香	森林林業総室



今年度よろしくお願いたします！

食彩ふくしま地産地消推進店のメニューの紹介

地産地消推進日(5月は8日(日))に合わせ、いわき農林事務所に情報提供のあった食彩ふくしま地産地消推進店のメニューを紹介しますので、ぜひご賞味ください。
なお、店舗の都合により内容は変更される場合がありますのでご了承ください。
また、営業日(メニューの実施日)については、事前にご確認ください。

○ 北の屋そばや(植田町)

《地産地消メニュー》(冷)ぶっかけうどん・そば、そば御馳走

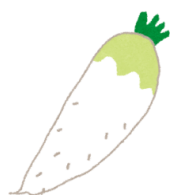
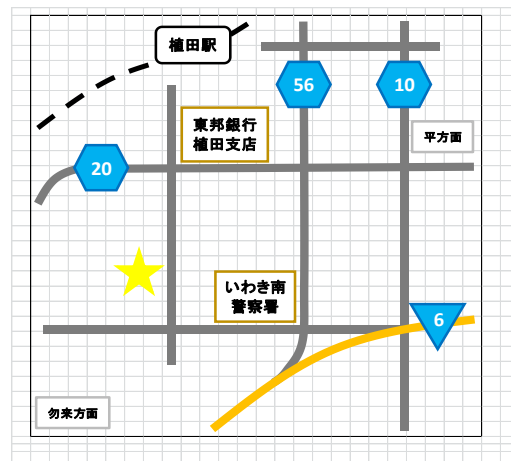
《説明》提供する料理にはいわきの野菜(とろろ、大根、ナス等)をできるだけ多く使用しています。

《連絡先》

住 所: 植田町本町1-10-1

電話番号: 0246-62-4752

《料理の写真》





いわきの情報をお知らせします！



福島県いわき農林事務所

いわき市平字梅本15番地(福島県いわき合同庁舎3F)
TEL.0246-24-6197 FAX.0246-24-6196

mail kikaku.af07@pref.fukushima.lg.jp
http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/

Q いわき農林事務所

検索

いわき地方の地元農産物を使った ベーグルとドーナツをご紹介します！

いわき農林事務所では、地産地消の取組の支援を行っています。

今回は、四倉町にある「おやつ屋 Meguru」
の手作りベーグルとドーナツの4品をご紹介します。
店主の根本さんがベーグルやドーナツの生地
の製造から販売まで1人で担っています。手間や
時間を惜しまず、ひとつひとつ真心が込められ
たベーグル等は、食べたあつたの大きなサイズ
で、具材もたっぷり入っており、食べた方が元
気で笑顔になってほしいという思いが反映され
ています。



ユズとクリームチーズのベーグル(税込価格/280円)

四倉産ユズをマーマレードに加工し、ユズパウダーと一緒に生地
に練り込んでいます。中にはクリームチーズが入っており、ユズ
の香りとマーマレードの優しい甘さを味わえます。



黒糖みそじゅうねんベーグル(税込価格/280円)

いわき市の在来種「さと豆」から作られた昔ながらのみそと、
いわき市産じゅうねんを生地に練り込み焼くことで、味噌の
香ばしさと黒糖の上品な甘さ、じゅうねんのプチプチした食
感が楽しめます。



イチゴクリームチーズサンドベーグル(税込価格/280円)

クリームチーズと練乳、いわき市産イチゴ(品種:ふくはる
香等)から作った自家製ジャムをサンドした甘酸っぱい味に
仕上がっています。



ドーナツ(税込価格/180円)

通常商品(北海道産小麦粉使用)とは別に、うどんにも使用
されている好問産小麦粉のキヌアズマ50%の配合に変える
ことができますので、ご予約の際は、「キヌアズマの地粉
配合で」と一言お伝えください。

おやつ屋 Meguru

●いわき市四倉町下仁井田道庭 134 ●TEL.090-8783-4867 ●FAX:0246-32-3407

●営業時間:平日11:00~16:00 ●定休日:土・日・祝日、不定休 ●HP: http://oyatsu8meguru.com/

※原材料の入手状況によりご希望の商品が提供できないことがありますので、お買い求めの際は、事前に上記店舗までお問い合わせください。
※ご予約の際は、2日以上前に電話、FAX 又はホームページのメールフォームにてご連絡ください。



「おいしさ発見!」は2005年1月にスタートしました。いわきの農産物や魚を紹介しながら、食と農がもっとつながることを願って情報発信しています。福島県いわき農林事務所・(株)平果・丸秀水産(株)・Kitao・大雅・ブディングアリス・小房さんに協力をいただき、(有)ネットワークスが編集しています。

いわき農林事務所からのお知らせ

○ふくしまの最新情報を「ふくしま 新発売。」に掲載していますのでどうぞご利用ください。

<http://www.new-fukushima.jp/index.html>

- 1 「がんばろう ふくしま応援店!」一覧
- 2 イベント情報
- 3 農林水産物モニタリング情報
 - (1) モニタリング情報検索
 - (2) 出荷制限等一覧表



「東日本大震災」
及び「原発事故」からの
復興のために!

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。
福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地
(県いわき合同庁舎 3階)
T E L (0246)24-6152 F A X (0246)24-6196
U R L <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/>



いわき農林水産ニュース